多自然川づくり取り組み事例

タイトル	那賀川の土砂還元による河川環境の改善効果（中間報告）		
水系／河川名	一級水系那賀川	河川分類	中小河川
河川の流域面積	874km2	整備計画流量：8500m3/s（W=1/30）	セグメント：2-1
事業	その他	事業開始年度	平成19年度
目標設定	定性的	段階	D（実施・施工時）
課題・目的（主な）	水環境改善、礫河原、砂州・中州の保全・再生・創出、瀬・淵の保全・再生・創出		
工法（主な）	置土（土砂投入）		
配慮事項（主な）	河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催		

背景・課題、目標設定

＜背景・課題＞

那賀川で唯一洪水調節機能を有する長安口ダムでは、貯水池機能保全を図るために、貯水池上流河道に堆積している土砂を掘削し、ダム下流河道に置き土砂をすることで、洪水時に下流河道へ還元する取り組みを実施している。

今回は、土砂還元が、那賀川の治水・利水・河川環境に大きな影響を与えることのないよう、置き土砂下流の区域において、物理環境の変化に着目したモニタリング調査を実施した結果の中間報告

＜目標＞

川本来の姿である砂レキが復活し、動植物が生息・生育できる清流と砂レキの調和した川づくり

取り組み内容・対策例

＜取り組み内容＞

長安口ダムに流入する土砂を抑制するために、長安口ダム上流にある追立ダム箇所の掘削及び流入した土砂を除去する貯水池上流部での陸上掘削を実施している。

置き土砂による土砂動態変化と治水面・防災面・環境面の各課題や環境面の変化を監視するためのモニタリングを実施。

ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ結果、ｱﾋﾟｰﾙﾎﾟｲﾝﾄ、今後の対応方針

＜モニタリング結果・アピールポイント＞

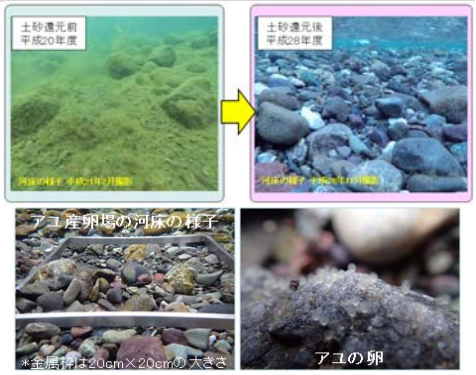
土砂還元前（平成20年）は石が優占する粗粒化した河床で、河床には落ち葉等の有機物の堆積が目立っていたが、土砂還元後（平成28年）には、置き土砂した礫が供給され、浅場ができることで流れが生じ、有機物の堆積等も少なくなった。

また、土砂還元を実施している区間内で新しいアユの産卵場が確認された。産卵場には、土砂還元により供給された細礫～中礫が主体となっていた。

＜今後の対応方針＞

土砂還元による物理環境の変化が及んでいない下流河川での現状を把握したうえで、土砂還元による治水、利水及び河川環境への影響や効果について検討し、より望ましい置き土砂を決定する必要がある。

また、土砂還元を含む那賀川の土砂管理は、関係機関が個々に課題に取り組むだけでなく、流域全体として取り組む必要があり、関係機関が連携して現状把握を行い、総合的な土砂管理計画を策定する必要がある。



備考

問い合わせ先	四国地方整備局　那賀川河川事務所　調査課
電話番号	0884-22-6562

平成30年度 全国多自然川づくり会議 四国ブロック選出

那賀川水系／那賀川　那賀川河川事務所

那賀川の土砂還元による河川環境の改善効果（中間報告）

Keywords ： ダム堆砂，土砂還元，総合土砂管理

●Before

●After

平成１９年度以降、長安口ダムにおける貯水池容量の維持と、ダム下流の河川環境改善（粗粒化の解消等）を目的として、長安口ダム貯水池上流に堆積した土砂を掘削し、ダム下流に置き土砂を実施した。

今回は、還元した土砂により治水・利水・環境面の影響について評価するために、置き土砂下流において、物理環境の変化と生物環境の変化に着目したモニタリング調査を実施した。